整形外科
Orthopaedic Surgery

外来受付
1 階 05 番　TEL（06）6645-2361
午前 8 時 45 分～午後 4 時 45 分 [平日]
完全予約制となっております。

詳細はこちら

診療科部長、教授
てらい　ひでとみ
寺井　秀富



専門
脊椎脊髄外科、脊柱変形、側弯症

スタッフ

副
すずき　あきのぶ
准教授　**鈴木　亨暢**
【専門】 脊椎脊髄腫瘍、低侵襲脊椎手術

とよだ　ひろみつ
准教授　**豊田　宏光**
【専門】 脊椎、骨粗鬆症、側弯症

たかはし　しんじ
准教授　**高橋　真治**
【専門】 脊椎外科、側弯症、骨粗鬆症

はしもと　ゆうすけ
特任教授　**橋本　祐介**
【専門】 スポーツ医学、関節鏡、膝

おかの　ただし
特任教授　**岡野　匡志**
【専門】 リウマチ外科、足の外科、骨粗鬆症

すがま　りょう
講師　**洲鎌　亮**
【専門】 膝、股関節外科

まなか　ともや
講師　**間中　智哉**
【専門】 肩関節外科、肩関節鏡

まもと　けんじ
講師　**真本　建司**
【専門】 リウマチ外科、膝・股関節・足の外科

たまい　こうじ
講師　**玉井　孝司**
【専門】 脊椎外科、頚椎

しんたに　こうすけ
講師　**新谷　康介**
【専門】 小児整形外科、手外科

うえやま　ひでき
講師　**上山　秀樹**
【専門】 膝、股関節外科

診療科の特徴

当院整形外科は 1948 年に水野教授が開講されて以降、70 年以上の歴史を持つ整形外科学教室です。整形外科が扱う領域は脊椎外科、関節外科（肩・肘・股・膝・足）、関節リウマチ、手外科、スポーツ、骨軟部腫瘍外科、小児整形外科等と多岐にわたりますが、当院ではすべての分野を網羅しています。各分野とも日本整形外科学会に所属する各分野の専門医、認定医、指導医等の資格のある経験豊富な医師が担当します。2022-2025 年度版 Newsweek 社の World's Best Hospitals に整形外科部門で選出されています。特に、低侵襲脊椎手術、脊柱変形・側弯症手術、コンピューター支援手術、顕微鏡下の組織再建術、最新の人工関節、関節鏡下低侵襲手術などの手術療法に加え、生物製剤など最新の薬物療法も全国に先駆けて積極的に導入しています。関連病院の先生方、病院と緊密に連携をとり新専門医制度にも対応した ” 大阪公立大学整形外科クリニカルフェローシップ ” という独自の教育システムを採用しています。整形外科手術手技の修得、整形外科疾患の診断と治療、及び高度先端医療に至るまで整形外科の後期研修を実現し、毎年 15 人を越える新人医師を迎え活気にあふれる医局となっています。

対象疾患

[主力疾患]
・腰部脊柱管狭窄症　・椎間板ヘルニア　・頸椎症性脊髄症・神経根症
・側弯症　・骨粗鬆症性椎体骨折　・脊椎すべり症　・脊椎外傷
・脊椎脊髄腫瘍　・変形性股・膝関節症　・寛骨臼形成不全
・大腿骨頭壊死症　・変形性足関節症　・膝前十字靭帯損傷
・膝半月板損傷　・膝円板状半月　・外反母趾　・膝離断性骨軟骨炎
・膝蓋骨脱臼　・股関節唇損傷　・距骨離断性骨軟骨炎　・骨軟部腫瘍
・転移性骨腫瘍　・腱板断裂　・変形性肩関節症　・反復性肩関節脱臼
・インピンジメント症候群　・小児整形外科疾患　・四肢先天異常
・母指 CM 関節症　・デュプイトラン拘縮　・手根管症候群
・肘部管症候群

[対応できる疾患]
・Femoro-Acetabular Impingement　・胸郭出口症候群
・上肢の偽関節　・下肢骨折変形治癒　・キーンベック病
・関節リウマチ　・良性悪性骨軟部腫瘍　・舟状骨骨折・偽関節
・三角線維軟骨複合体損傷　・尺骨突き上げ症候群　・手根不安定症
・遠位橈尺骨関節障害　・末梢神経障害　・腱損傷　・石灰性腱炎
・動揺肩　・投球障害肩　・肩鎖関節脱臼
・上腕骨近位端骨折・変形治癒　・凍結肩　・脊椎関節炎
・脊髄係留症候群　・脊髄終糸症候群

主な診療実績

脊椎外科 406 件、関節外科 172 件、骨軟部腫瘍外科 127 件、手外科・小児整形外科 106 件、肩関節外科 150 件、スポーツ 95 件、リウマチ外科 120 件、外傷 38 件

脊椎外科では顕微鏡、内視鏡下手術から変形矯正手術まで、関節外科では小皮切手術、最新のコンピュータ支援技術を用いた人工膝関節・人工股関節、骨切り術を、肩関節外科では関節鏡手術からリバース型人工関節まで、スポーツ整形外科では関節鏡視下手術など低侵襲手術を得意としています。リウマチ外科では積極的に最新の生物製剤を導入し、成人の足部疾患の手術にも対応します。手外科では、微小血管吻合技術や腱移行術を用いた高度な再建手術を行っています。骨軟部腫瘍外科では手術に加え、抗癌剤治療を併用して、悪性腫瘍であっても患肢温存を目指しています。小児整形外科では新生児から思春期までのあらゆる病態に対応しております。適応症例については地域医療連絡室を通じて御紹介ください。

ご紹介時のお願い

初診予約は診療情報提供書（診察予約申込書）に必要事項をご記入の上、地域医療連絡室へ FAX にてお申込みください。